

# 事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 17 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	固定資産税(家屋)課税事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんなで元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	市民部	課長名 浅野静代
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	税務課	担当者名 田中・杉山
	基本事業	88	自主財源の確保	所属班	市税班	(内線) 1127・1128
				法令根拠	地方税法、合志市条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	1
	1	2	2	2	11129・11130			コスト削減優先度評価結果	12・2

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 25 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
新築・増改築された家屋や店舗等に対して適正な評価額を算出し、課税するために必要な事務である。

【業務の流れ】  
登記通知書及び現地調査等による課税物件の現状把握、家屋実地評価、評点数の付設、課税入力、評価額縦覧・閲覧、納税通知書出力・封入・発送

【主な予算費目】報酬、印刷製本費、役務費、使用料及び賃借料

## 1 現状把握の部(DO、PLAN)

### (1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 登記通知書及び現地調査等による課税物件の現状把握、家屋評価、評点数の付設、課税入力、評価額縦覧・閲覧、納税通知書・封入・発送	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 家屋課税対象物件数 件 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 1月1日現在で市内に有する固定資産税対象の家屋所有者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 家屋課税対象者 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民に信頼される公平で適正な課税	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 問い合わせ及び苦情等の件数 件 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 自主財源が確保できている。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 自主財源比率 % イ 税込納率(現年度) %

### (2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  目 標 合 計 値 画  22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円					1,000		
		繰入金	千円							
	一般財源	千円		2,978	2,978	2,733	1,730	2,978	2,978	
	(A) 事業費計	千円		0	2,978	2,978	2,733	2,730	2,978	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間		3,012	2,950	2,950	2,950	2,900	2,900	
	(B)人件費計	千円		0	11,988	11,741	11,741	11,542	11,542	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		0	14,966	14,719	14,474	14,471	14,520	14,520
	活動指標	ア 件 イ		21,555	21,759	21,987	22,206	22,428	22,652	
	対象指標	ア 人 イ		15,081	15,280	15,522	15,677	15,833	15,991	
	成果指標	ア 件 イ		20	19	16	18	18	18	
	上位成果指標	ア % イ %		99	99	99	99	99	99	

### (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
地方税法、合志市税条例
- 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
適正な評価額を算出するには実地に調査する必要があるが、昨今のプライバシー及び個人情報保護の観点から実地調査の要請が難しくなっている。
- この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
家屋実地評価は訪問日時を指定して調査しているが、共働き世帯が多く土日、祝日の要望が多数ある。

事務事業名	固定資産税(家屋)課税事業	所属部	市民部	所属課	税務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 課税業務は、市の重要な財源を確保するための事業であるため整合性はある。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 納税は国民の義務であり、その根拠になる適正な課税事務は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 課税対象者の把握を適切に行っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現況確認を充実させ、精度の高い課税事務を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市の財源が確保できなくなり、市政が成り立たない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 庁内に類似事業はなく公平・公正な課税事務を行うための事業であり、他の手段は考えられない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現時点の事業費は最低限の予算であり、その枠組みの中で効率性を最大限に生かして事務処理をしているので、これ以上削減されると成り立たない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現時点の人数は必要最低限であり、これ以上削減されると事業が成り立たない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平・公正を期すため全棟調査を実施する必要がある。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。現況確認を充実させる。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。全棟調査を実施する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 限られた人数で多数の窓口・電話等に対応しながら課税事務を処理しなければならない状況から、現地調査・家屋実地評価をいかに効率的で迅速に対応するかを常に検討する必要がある。また課税客体の把握及び公平・公正の観点から全棟調査を早急に実施する必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
全棟調査には多額の費用が必要なため、現在の財政状況では導入は難しい。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	6	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )